

【概要】

公表日：2020 年 2 月 5 日

英国：より厳しい気候政策を採用するよう投資家から圧力を受けるバークレイズ

著者：パトリック・コリンソン、ガーディアン

「バークレイズは化石燃料に対する新たな投資家の反乱に直面している」

国際金融グループ、バークレイズは、化石燃料会社の欧州最大の投資家としての役割に対する懸念が高まる中、英国の最も強力な投資家グループからの新たな反乱に直面しています。

18.5 兆ポンドの資産を保有し、英国の最大の投資家を代表する投資家フォーラムは、5 月の同銀行の年次株主総会の前に、気候変動に関するより厳しい政策を採用するようバークレイズに迫っています。

同行はすでに、1,300 億ポンドを超える資産を管理している 11 の年金および投資ファンドからなる別のグループからの批判にも直面しています。キャンペーングループ ShareAction を中心に、彼らはバークレイズがパリの気候目標と合致しない化石燃料エネルギー企業へのサービスを段階的に廃止する明確な目標を設定するよう求める決議を提出しました。

報告されている投資家フォーラムの介入は、そのメンバーに英国のファンド管理業界のすべてのビッグネームが含まれており、銀行への圧力を強めています。投資家フォーラムはこの件に関してコメントを拒否しました。・・・

バークレイズは次のように述べています。「この問題について、ShareAction やその他の利害関係者と引き続き対話を持ち、適切な時期にさらなる声明を発表します。」

バークレイズ自体は、このキャンペーンが不公平であると信じています。・・・

バークレイズは化石燃料業界にとって重要な銀行であり続ける一方で、この分野でもっとも積極的に拡大している会社とのビジネスは、2016 年の 131 億ドルから 2018 年の 52 億ドルに激減しているという数字を示しました。また、当行は“グリーン”債と再生可能資金として 273 億ポンドを助成しています。

[全文（英文）を読む](#)